

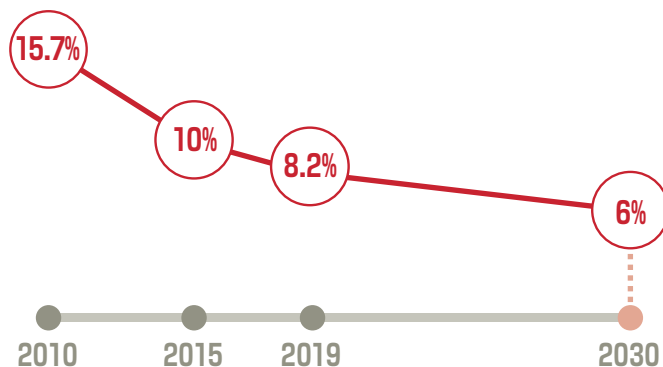
1 貧困をなくそう



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前

＝ 全世界で ＝
2030年までに貧困に終止符を打つ
めどは立っていなかった



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

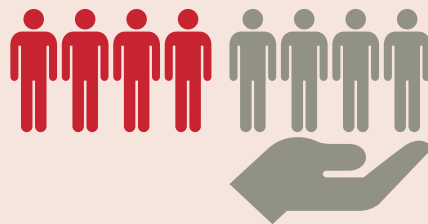


新型コロナウイルス感染症により、世界の貧困はこの数十年で初めて増加

2020年には、新たに7,100万人が極度の貧困へと追いやられる



若年労働者が極度の貧困に陥る確率は、成人労働者の2倍に (2019年)



2016年の時点で

40億人がいかなる形の社会保障も受けられていない

自然災害により
貧困はさらに悪化



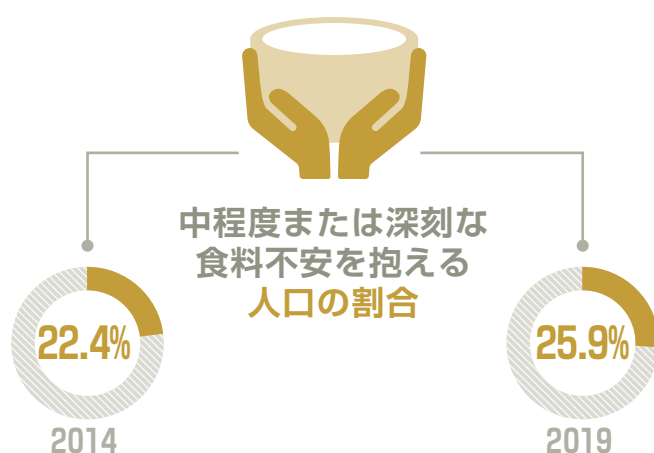
直接的な経済的損失は236億ドルに
(2018年時点の63カ国で)



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

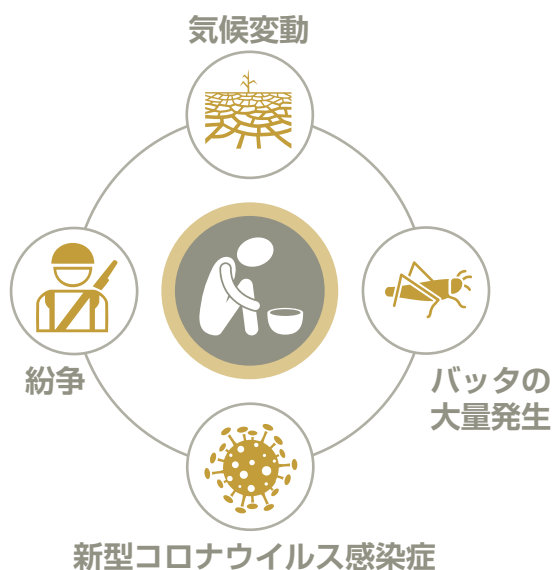
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

食料不安はすでに 増大

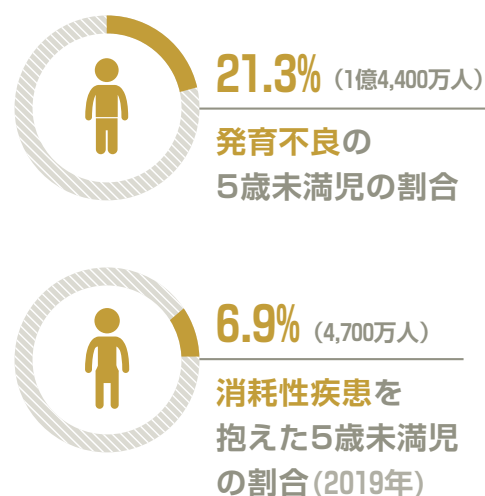


新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

コロナ禍は、食料システムに 対する新たな脅威に



子どもの発育不良と 消耗性疾患は 悪化する可能性大



小規模食料生産者は コロナ危機によって 大きな打撃



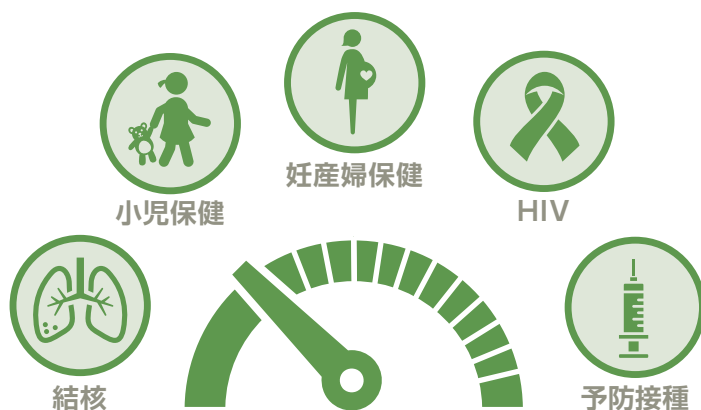
開発途上地域の
食料生産者全体の
40%-85%を占める



あらゆる年齢のすべての人々の 健康的な生活を確保し、福祉を推進する

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前

多くの保健分野で
前進が見られるものの、
その加速が必要



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

医療の混乱により
数十年間の進歩が
逆戻りするおそれ

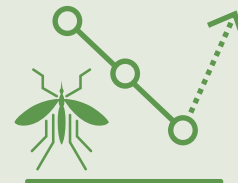


2020年には、5歳未満の死者が
数十万人増える可能性も

コロナ禍により
およそ70カ国で
子どもの
予防接種
プログラムが
中断



感染症の
症例と死者は
急増する見込み



サハラ以南アフリカでは、
医療サービスの中止に
よって、マラリアによる
死者が100%増大
する見込み

必須医療サービス
を受けているのは



世界人口の
半分未満
(2017年)

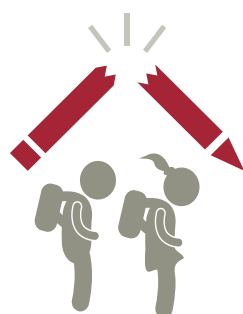




すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い 教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

包摂的で公平な
質の高い教育に向けた
前進の速度は不十分



2030年になっても
学校に通えない子どもは2億人以上

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響



休校によって
90%の児童・生徒は学校に通えず、
教育分野での数年分の前進が
帳消しに

教育面の不平等は

新型コロナウイルス感染症
によってさらに拡大

低所得国における子どもの
学校教育の修了率



最富裕層20%の
世帯で **79%**



最貧層20%の
世帯で **34%**

少なくとも
5億人の児童・生徒は
オンライン学習を
依然として
受けられていない



新型コロナウイルス感染症の予防に
不可欠な基本的洗面設備がある
小学校は、全体のわずか65%



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と 女児のエンパワーメントを図る

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

改善は見られるものの、
全面的なジェンダーの平等
には**依然として届いていない**



早婚を強いられる女児は減少
・・・
リーダーシップの役割を担う女性は増加

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

都市封鎖（ロックダウン）により、
女性と女児に対する暴力のリスクが増大



身体的暴力



性的暴力

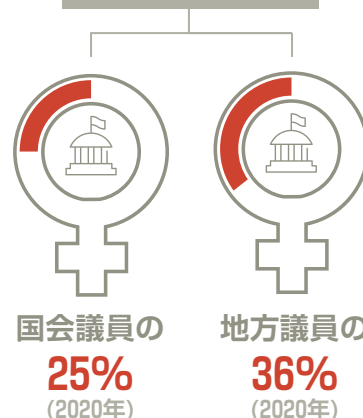


精神的暴力

家庭内暴力の件数が
30%増大している国も

女性は
新型コロナウイルス感染症
対応のリーダーシップでも、
公正な数と地位を占めるべき

女性が占める割合



コロナウイルス対策で、
女性は最前線に



医療従事者と
ソーシャルワーカーに
女性が占める割合は**70%**

コロナ禍で、女性が家庭で
強いられる負担は増大



それ以前から、女性が無給の家事や育児、
介護に費やす時間は男性の約**3倍**



すべての人々に水と衛生へのアクセスと 持続可能な管理を確保する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

—— 前進が見られるものの、——
数十億人は依然として
水と衛生サービスを受けられていない



22億人は、
安全に管理された
飲料水を利用
できていない
(2017年)



42億人は、
安全に管理された
衛生施設を利用
できていない
(2017年)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響



全世界で30億人が
基本的な手洗いをする
設備が自宅にない



新型コロナウイルス
感染症の予防に
最も効果的な手段



全世界の医療施設の
5カ所に**2カ所**には、
石鹸や水も
アルコールを
主成分とする
手指消毒剤も**ない**
(2016年)



水不足により、
2030年までに
7億人が
住む場所を
追われるおそれ



国によっては、水と衛生に関する
ターゲットの達成に必要な
資金の**61%が不足**



すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ
近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前

持続可能な
エネルギーに関する
取り組みを**拡大する**必要



7億8,900万人
が電力を
利用できていない (2018年)

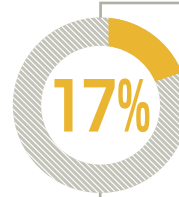
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

手ごろで信頼できるエネルギーは、
医療施設にとって不可欠



開発途上国では、
● **4カ所のうち1カ所**
に**電気が通じていない** 国も
(2018年)

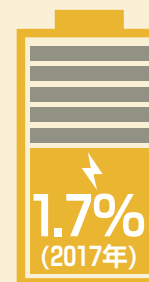
再生可能エネルギー
への取り組みを
さらに強化する
ことが必要



エネルギー消費量
全体に占める再生
可能エネルギーの
割合



エネルギー効率
改善率は
目標としている3%に
達していない



再生可能エネルギーの整備を目的とする
開発途上国への**資金の流れは増大**

214億ドル
(2017年)



ただし、後発開発
途上国に流れる
割合はわずか

12%



すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、
生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

世界経済の成長は 減速



2.0%
1人当たりGDP成長率
(2010-2018年)

1.5%
1人当たりGDP成長率
(2019年)



コロナ禍により、
インフォーマル経済で働く
16億人の労働者
が生計手段を失うおそれ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響



世界は大恐慌以来、
最悪の景気後退に直面

2020年には、
1人当たりGDPが
4.2%減少する見込み

観光業は 未曾有の 課題に 直面

2020年の新型
コロナウイルス
感染症拡大の
想定の下での
外国人観光客数



8億5,000万人減
11億4,000万人減



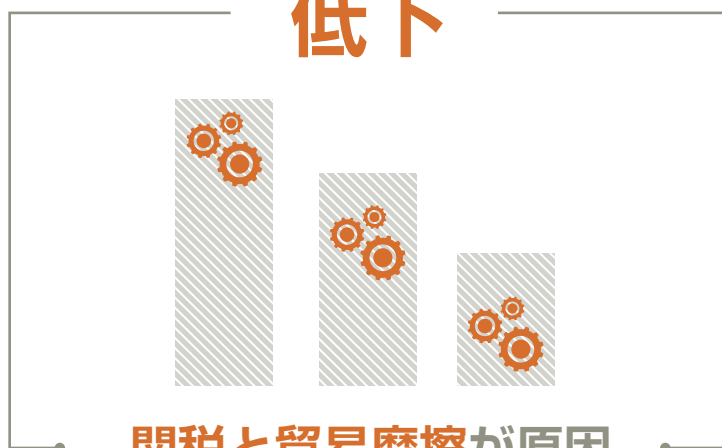
新型コロナウイルス感染症により、2020年第2四半期で
4億人相当の仕事が失われるおそれ



レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な
産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

製造業の成長率は 低下



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

航空業界は、 史上最大の急落に直面



2020年1月から5月にかけて、
航空機利用者数は**51%減少**
(2019年同期比)

小規模産業

がコロナ危機を
克服するためには、
資金援助が必要



開発途上国で
貸付を受け
られるのは
35%のみ
(2006-2018年)

研究開発投資

は増大しているものの、
さらに加速が必要



1.4兆ドル
(2010年)
2.2兆ドル
(2017年)

後発開発途上国でインターネットを
利用できるのは、**5人に1人未満**(2019年)





国内および国家間の不平等を是正する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

所得の不平等は、いくつかの国で縮小



84カ国のうち38カ国で、**ジニ係数が低下**
(2010-2017年)

ジニ係数とは、所得の不平等を0から100で測る指標で、0はすべての人に所得が平等に行きわたる状態を示し、100は所得を1人がすべて独占する状態を示す

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

最も脆弱な立場に置かれた人々が、コロナ禍による打撃を最も受けている



高齢者



障害者



子ども



女性



移民・難民

世界的な景気後退で、**開発途上国**への開発援助が目減りするおそれも



開発援助の流れ

4,200
億ドル
(2017年)

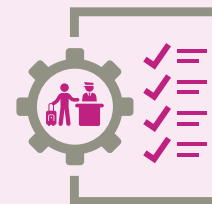


2,710
億ドル
(2018年)



54%

データが得られる国のうち、包括的な移住政策を備えている**国の割合**





都市と人間の居住地を包摂的、安全、 レジリエントかつ持続可能にする

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

スラムで暮らす都市人口の
割合は、2018年時点で
24%にまで上昇



公共交通手段への
便利なアクセス
が可能なのは、
世界の都市住民の
わずか半数
(2019年)



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響



2016年の時点で
大気汚染は
420万人の
早死の原因に



公共緑地から徒歩で400メートル以内に
暮らす人々は、人口の47%



400m





持続可能な消費と生産のパターンを 確保する

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前

世界は依然として、
持続不可能な形で
天然資源を利用



2010

全世界のマテリアル・
フットプリント

732億トン



2017

全世界のマテリアル・
フットプリント

859億トン



電気・電子機器
廃棄物は
38%増加



しかし
リサイクル率は
20% 未満
(2010-2019年)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

コロナ禍は
より持続可能な未来を実現する
復興計画を策定する機会に



2017年から2019年 にか、
79カ国と欧州連合 (EU) が
持続可能な消費と生産を促進する
政策を少なくとも1件報告



化石燃料に対する
補助金の増額が
気候危機を助長

3,180
億ドル
(2015年)

4,270
億ドル
(2018年)



収穫



輸送



貯蔵



加工

13.8%

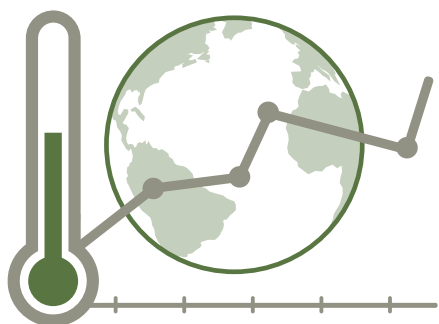
の食料がサプライチェーン内で消失 (2016年)



気候変動とその影響に立ち向かうため、 緊急対策を取る

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

気候危機 を
逆転させるために
必要な公約をためらう国際社会



2019年は
記録が残る中で
2番目に暖かい年に

地球の気温は
2100年までに
最大で3.2℃
上昇する見込み



仙台防災枠組と
整合する

国家防災戦略を
策定しているのは
わずか**85カ国**

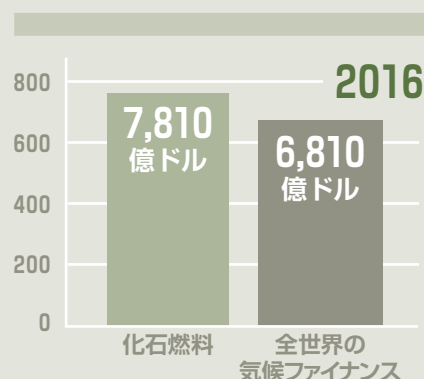
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響



新型コロナウイルス感染症により
2020年の温室効果ガス（GHG）
排出量は6%減少する見込み

それでも、地球温暖化を
1.5℃に抑えるために
必要な年間7.6%の削減
には及ばない

気候ファイナンス：
化石燃料への投資は
気候対策への投資を
引き続き上回る



気候変動により
自然災害 の頻度と
深刻度が引き続き悪化



大規模山火事



干ばつ



ハリケーン



洪水

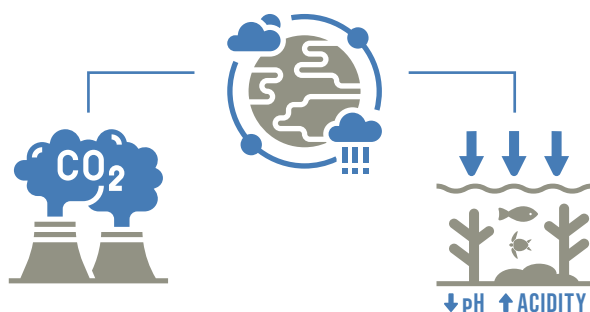
2018年には
被災者が

3,900万人 を上回る

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて 保全し、持続可能な形で利用する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

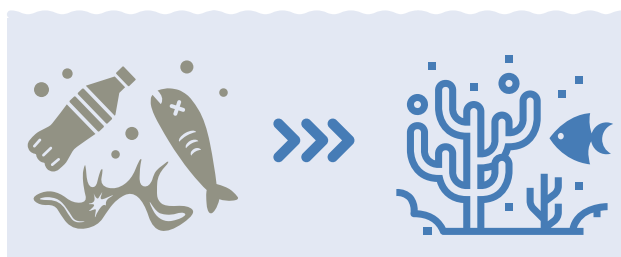
海洋の酸性化は引き続き、
海洋環境と生態系サービスを
脅威にさらしている



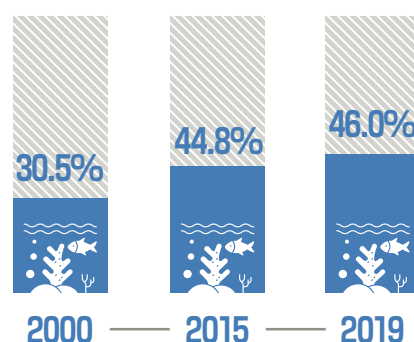
2100年までに、海洋酸性度は
100-150%高まり、
海洋生物の半数に影響が出る見込み

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

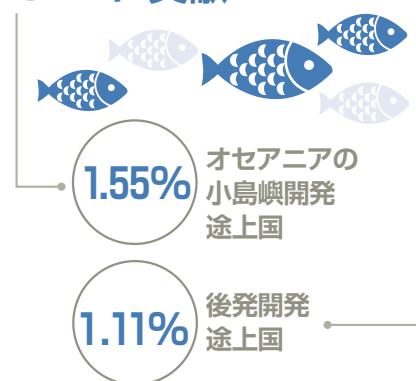
新型コロナウイルス感染症による
人間の活動の劇的減少は、
海洋が回復するチャンスとなる可能性も



全世界で保護区に指定された
主要な海洋生物多様性地域の
割合は上昇



持続可能な漁業は
GDPに貢献



世界平均の**10倍**

97カ国が、違法・無報告・無規制漁業に
関する初の拘束力を持つ国際協定
「寄港国措置協定」に署名

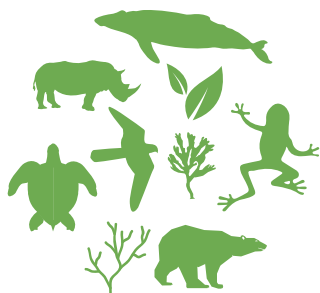




陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止 および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

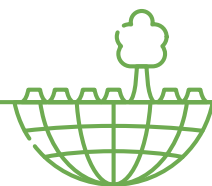
—— 世界は2020年までに ——
生物多様性損失を阻止するという
ターゲットを達成できず



3万1,000種を超える
生物が絶滅の危機

すなわち

評価対象となった
11万6,000を超える
生物種の27%が国際自然
保護連合（IUCN）の
レッドリストに

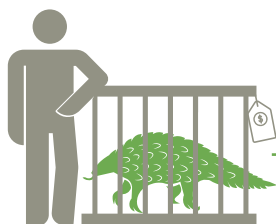


主に農地の拡大により
森林面積は依然として
恐るべき速さで
縮小している

毎年、1,000万ヘクタールの
森林が破壊（2015-2020年）

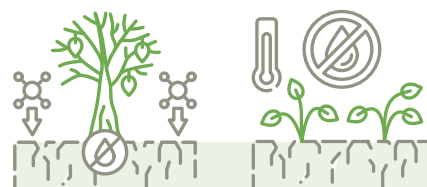
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

野生生物の違法取引が
生態系を混乱させ、
感染症の蔓延を助長



センザンコウは
コロナウイルスの
媒介生物である可能性あり

37万匹相当の
センザンコウが世界中で
捕獲された（2014-2018年）



地球上の陸域のうち
20億ヘクタールが劣化し、
およそ32億人が影響を
受けるとともに、
生物種の絶滅と
気候変動の激化が進行



生物多様性を国家計画策定に統合すると
いう国内目標達成のめどが立っているのは、
113カ国のうち3分の1のみ



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前

＝ 毎日、国際法による保護
があるにもかかわらず



100人の民間人が
武力紛争で死亡

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

新型コロナウイルスの影響は、
世界の平和と安全に一層の脅威を与える



すでに2019年時点で、戦争や迫害、
紛争を逃れる人々の数は7,950万人を超え
史上最多の数を記録

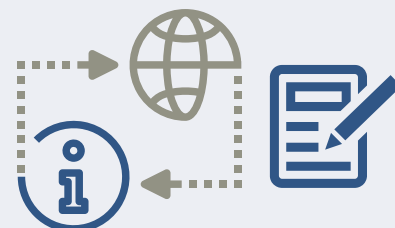


全世界の殺人率は
緩やかに低下

人口10万人
当たり
5.9人
(2015年)

人口10万人
当たり
5.8人
(2018年)

全世界の殺人の
犠牲者数は44万人に



127カ国は

知る権利

または

情報の自由に関する
法律を採択

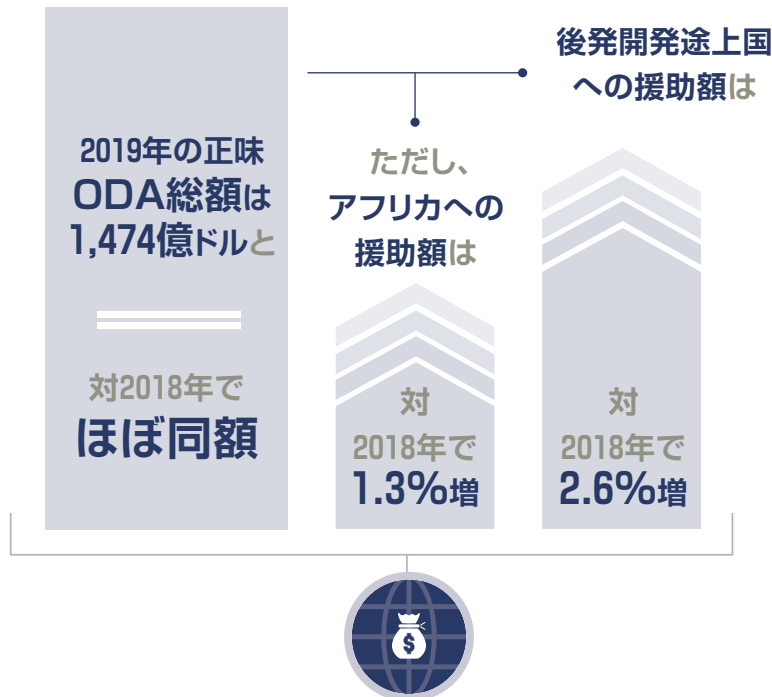


60%の国では、刑務所が過密状態にあり、
新型コロナウイルス感染症の蔓延が懸念



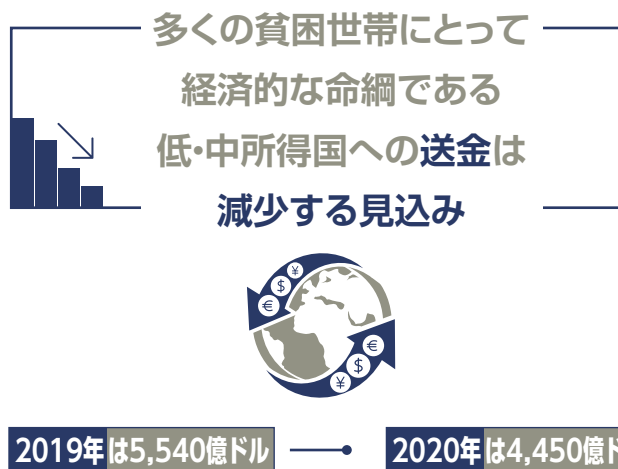
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以前



世界の外国直接投資は
2020年に最大で
40%減少する見込み

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響



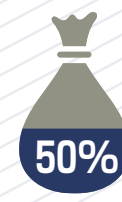
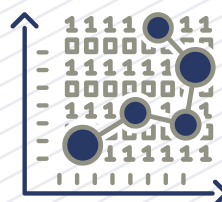
固定ブロードバンド
回線加入者

2019年は住民100人当たり

先進国
33.6人

開発
途上国
11.2人

データ・統計整備のための
国際的資金拠出額は
2017年の時点で6億9,000万ドル



必要な
金額の半分に
すぎず

誰一人取り残さない

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前

子どもはいつも 多様な形態の暴力の被害者



2030年までに
子どもに対する
暴力をゼロに

ほぼ
10人に8人の子ども
(1-14歳)が
家庭で精神的または
身体的暴力の対象に



発見された
人身取引被害者の
ほぼ3分の1 は
子ども
(2016年)



低・中所得国を中心とする
69カ国のデータに基づく

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

数百万人の子どもと若者の福祉に コロナ危機が影響



コロナ禍による休校で
給食を食べられなくなった
子どもは **3億7,900万人** に
上る見込み



世界の
児童労働削減で
見られた前進は
20年ぶりに **逆戻り** する
可能性大



80代 の高齢者が
コロナウイルスで
命を落とす可能性は
平均の **5倍** に

既存の**差別の形態**が
コロナ危機でさらに
固定化するおそれも



障害者の**10人に3人**は
何らかの差別を経験
(2014-2019年)